

## ○一般社団法人 日本森林学会 2021 年度第 3 回（通算第 478 回）理事会 議事録

日時：2021 年 9 月 27 日（月）13:00～17:00

場所：日林協会館 3 階大会議室，Web 会議システム（Microsoft Teams）を併用して開催

開催者：丹下 健

出席者：会長）丹下 健，副会長）深町加津枝，正木 隆，理事）玉井幸治，柿澤宏昭，林田光祐，伊藤 哲，松本麻子，井上真理子，枚田邦宏，井鷲裕司，高山範理，田中 浩，黒田慶子，船田 良，大久保達弘，横井秀一，梶本卓也，小島克己，太田祐子，監事）駒木貴彰，戸丸信弘，主事）小田智基，山田祐亮，滝 久智，吉藤奈津子，坂下 涉，星野大介，小山泰弘，松本 武，山崎理正，稲永路子，竹内啓恵，水内佑輔，荒木眞岳，杉浦克明，編集部）町田庸子 [学会誌刊行センター]，事務局）稲村崇子，オブザーバー）赤羽 元 [林野庁]，八坂通泰 [全林試協]，菊池俊一 [第133 回大会運営委員]，山中典和 [鳥取大学]

議長：丹下 健

Web 会議システム（Microsoft Teams）にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時的確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

### 審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

#### 1. 第 133 回大会（山形大学）の大会参加費について

林田理事（大会担当）より，第 133 回大会の大会参加費は 2022 年 1 月 31 日までに参加登録した場合、一般会員 8000 円、学生会員 1500 円、非会員 10000 円、2 月 1 日以降は一般会員 10000 円、学生会員 3000 円、非会員 12000 円とすることが提案された。視聴のみの学部学生は無料、非会員も会員と同額とした方が将来の学会員増員につながるとの意見が出され、議論した結果、次のように決定された。

##### (1) 2022 年 1 月 31 日まで

一般会員	8,000 円
学生会員	1,500 円
非会員	8,000 円

##### (2) 2022 年 2 月 1 日から

一般会員	10,000 円
学生会員	3,000 円
非会員	10,000 円

#### 2. ただし、視聴のみの学部学生は無料（大学院生や研究発表を行う学部学生は有料）第 134 回大会（関西大会）の開催形式について

玉井理事（総務担当）より，第 134 回大会（関西地区）はオンライン開催を条件として鳥取大学で開催することについて検討し，12 月の理事会で決定したいとの提案があった。これに対し、

学生の発表の場として現地開催の方が望ましいとの意見やオンライン開催をする場合には参加者の懇親の場を設ける等、オンライン開催による会員サービスの低下を軽減する努力をした方が良いという意見が出された。また木材学会は 2023 年 3 月の大会は九州大学での現地開催の予定で準備しているとの情報提供があった。鳥取大学では物理的にオンサイトでの開催は不可能であることが山中典和会員（鳥取大学）から報告された。12 月の理事会での決定に向けて、応用森林学会、関西地区選出代議員を含め、検討を継続することとなった。

### 3. 学会企画 [帰国留学生会員及びアジアの林学会とのネットワークフォーラム] の開催の提案

大久保理事（国際交流担当）より、第 133 回大会の学会企画として「帰国留学生会員及びアジアの林学会とのネットワークフォーラム」を開催し、ポスター発表と交流会を行うことが提案された。企画の開催については承認されたが、今後運営委員会、プログラム編成担当とも調整が必要であるため、企画担当を通して申請し、詳細について検討することが決まった。

### 4. 日本森林学会誌編集委員会内規の改正

正木理事（日林誌編集担当）より、編集委員長の職務を代行する者として副編集委員長を新設することが提案され、提案の通り承認された。内規改正案については、提案の「副編集委員長を指名する」を「編集委員のうちから副編集委員長を指名する」に改訂することで承認された。

### 5. 日林誌論文 pdf の非公開期間の変更

正木理事（日林誌編集担当）より、J-STAGE への日林誌論文の非公開期間を「冊子体刊行日から 2 か月」から「冊子体刊行日から 1 か月」に短縮することが提案され、提案の通り承認された。

### 6. 学生ポスター賞授与内規の改正

井鷲理事（表彰担当）より、学生ポスター賞の審査委員が予期せぬ理由で大会を欠席した場合、緊急措置として表彰理事、表彰主事、当該審査委員が属するグループの選考委員によって代理の審査委員を決定することが提案され、提案の通り承認された。学生ポスター賞授与内規への追記と誤字修正（資料 1）について議論の結果、文言を一部修正のうえ承認された。

### 7. 次回理事会の開催

次回の理事会は、連携学会会長合同会議として会場とオンラインを併用して、2021 年 12 月に開催することが承認された。

## 報告事項：

本理事会で報告された事項は以下のとおりである。

### 1. 第 133 回大会（山形大学）の準備状況

林田理事（大会担当）より、133 回大会（山形大学）の大会スケジュール、大会参加申し込み方法、研究発表申し込み方法、研究発表方法、学生ポスター賞、高校生ポスター賞の募集、公開シンポジウムについて報告された。

梶本理事（プログラム編成担当）より、第 133 回大会のお知らせの発行、公募セッション 4 件、企画シンポジウム 5 件の申込みがあり全て採択となったこと、大会プログラムの素案、懇親スペースの設置について報告された。

学会企画は企画担当が取りまとめること、12月の理事会前にメール審議にかけて承認を受けること、各種委員会の開催については総務担当と相談しプログラム編成担当と事務局に連絡することが依頼された。

## 2. 総務担当からの報告

玉井理事より、今年度実施される代議員選挙の方法と日程について報告された。また科研費（研究成果公開促進費）の応募がなかったこと、4件の共催・後援・協賛依頼の承認、会員動向について報告された。

## 3. 会計担当からの報告

柿澤理事より、第132回大会（東京農工大学）会計収支、2021年度半期決算について報告された。

## 4. 日林誌編集担当からの報告

正木理事より、投稿審査状況、J-Stage Dataにおけるデータの公開状況、論文賞の選考状況、日本森林学会誌第104巻表紙写真の募集について報告された。編集委員として北原 文明氏（森林総研）、杉浦 克明（日大）が追加されたことが報告された。

## 5. JFR 編集担当からの報告

伊藤理事より、出版状況、T&Fのミスによるトラブル、特集号の予定、Reviewer Acknowledgementの掲載、常任編集委員に伊原（宇治野）徳子氏（森林総合研究所）を増員すること、論文賞の選考状況、特集号の書籍化について報告された。

## 6. 森林科学編集担当からの報告

松本理事より、発行状況、広告獲得状況が報告された。既往広告主の直接広告契約を1件獲得した。

## 7. ウェブサイトのリニューアル作業についての報告

正木理事より、ウェブサイトのリニューアルに向けた準備状況と今後の予定について報告された。情報を必要性が高いと思われる順で配置することや、更新プロセスの効率化が主な変更点であること、10月1日から各担当による操作確認が開始され、11月1日前後でサーバーの入れ替えが行われることが報告された。

## 8. 広報担当からの報告

井上理事及び小山主事より、広報委員会の開催報告、ウェブサイトのリニューアルに伴うウェブサイト編集要領の改訂、ウェブサイトの更新状況、メールマガジンの発行状況について報告された。ウェブサイト編集要領の変更箇所について、「大会実行委員会」を「大会運営委員会」と修正することが提案された。

## 9. 表彰担当からの報告

井鷲理事より、日本農学進歩賞の応募が1件あり、学会から推薦としたこと、学会各賞の応募状況、農学賞の候補者推薦について報告された。農学賞の推薦については理事会での審議が必要

であるため、10月中に応募状況について情報共有し、臨時理事会またはメール理事会を開催し11月中旬までに推薦者を決定することとなった。

#### **10. ダイバーシティ推進担当からの報告**

高山理事より、委員会会議、日本学術会議公開シンポジウムへの参加、男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席、第19回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムへの参加予定、男女共同参画学協会連絡会2021年学協会女性比率・女性役員比率・女性委員比率に関する調査、第133回大会における企画案について報告された。

#### **11. 林業遺産担当からの報告**

深町理事より、2020年度までの林業遺産の選定数、林業遺産選定委員会のオンライン開催、2021年度の林業遺産選定のスケジュール、林野庁からの後援、森林科学94号における特集『「林業遺産」を活かす』を企画中であることが報告された。

#### **12. 社会連携担当からの報告**

小島理事より、日本学術会議IUSS分科会からのIUSS (International Union of Soil Sciences; 国際土壌科学連合)の次期役員候補者の推薦依頼、「第182回日本学術会議総会及び記者会見(4月22日)に関するご報告」(声明「日本学術会議会員任命問題の解決を求めます」及び「日本学術会議のより良い役割に向けて」等)についての配信、林野庁森林・林業基本計画検討室からの「森林・林業基本計画」及び「全国森林計画」に関する連絡について報告された。

#### **13. 中等教育連携推進担当からの報告**

太田理事より、高校生ポスター発表について、大日本山林会の協賛と国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の助成が決定したこと、中等教育連携推進委員会特別企画「高等学校教員を対象とした理科・総合学習の取り組みに関する情報交換会」の開催、第9回高校生ポスター発表の大会中の実施方法について報告された。

#### **14. 企画担当からの報告**

枚田理事より、大学教育検討委員会の活動報告があり、大学の調査協力者を選定し森林科学教育の現状についてのアンケート調査を行っていることが報告された。

#### **15. 木材学会連携担当からの報告**

船田理事より、木材学会の執行部の交代、2022年3月の木材学会名古屋大会と2023年3月の九州大会の準備状況、Journal of Wood Scienceのオープンアクセス化とインパクトファクターの上昇について報告された。

#### **16. 国内研究期間連携担当からの報告**

横井理事より、北海道でのセミナー企画を準備中であることが報告された。

議事録作成者：玉井幸治，小田智基

資料 1. 学生ポスター賞授与内規の改正

内規

旧	新（追記）
<p>7. 委員会は、グループごとに担当する選考委員を決める。選考委員は、大会に参加する会員の中から、各人の専門性を考慮して適切な審査委員を推薦し、委員会で決定するとともに、委員長が委嘱を行う。選考委員は審査委員が審査対象とするポスターの決定を行う。審査委員 1 人あたりの件数を概ね 6～12 件とし、同一のポスターに少なくとも 3 名の審査委員が審査を行うものとする。</p>	<p>7. 委員会は、グループごとに担当する選考委員を決める。選考委員は、大会に参加する会員の中から、各人の専門性を考慮して適切な審査委員を推薦し、委員会で決定するとともに、委員長が委嘱を行う。選考委員は審査委員が審査対象とするポスターの決定を行う。審査委員 1 人あたりの件数を概ね 6～12 件とし、同一のポスターに少なくとも 3 名の審査委員が審査を行うものとする。<u>また、大会当日に審査委員がやむをえず欠席した場合、緊急措置として表彰理事、表彰主事、当該審査委員が属するグループの選考委員によって、代理の審査委員を決定する。</u></p>

旧	新（誤字修正）
<p>9. 審査委員は、直接ポスター会場に出向き、聞き取り等を行うことで、7.の審査項目に基づいて審査し、採点する。</p>	<p>9. 審査委員は、直接ポスター会場に出向き、聞き取り等を行うことで、<b>8.</b>の審査項目に基づいて審査し、採点する。</p>